

徳高☆SSH通信☆

第 3 号 平成 2 3 年 5 月 2 5 日 (水)

山口県立徳山高等学校

はじめに

徳山高校SSHの2年目がスタートしました。

昨年度、SSHの指定を受け、「SSH基礎」、「ライフサイエンス」といった徳山高校独自の授業がはじまり、新しく「マレーシア海外研修」や「企業連携学習」にも取り組みました。3月には「平成22年度SSH活動報告会」を開催し、県内の中学校や高校の先生方、徳山高校1年生の保護者の方々に1年間の活動を報告しました。

SSH通信では、今、徳山高校で取り組んでいるSSHの研究活動や今後の活動予定等について広く皆さんにお知らせしていきます。今回は、昨年度の3月に行われたSSH活動報告会の様子と平成23年度の徳高SSHの主な活動計画について報告します。

◎SSHの理念◎

○SSHとは

「スーパーサイエンスハイスクール (SSH)」は、未来を担う国際的な科学技術系人材を育てることをねらいとして文部科学省が指定した、科学技術や理科、数学などの理数系教育を重点的に行う学校です。全国に145校(平成23年度)の指定校があり、山口県では現在、宇部高校(平成19年度指定)と本校がその指定を受けています。

○徳高SSHがめざすもの

本校SSHの研究開発は、科学技術に関する高度な専門性をもった、国際社会で活躍できる人材を育てることを目標にしています。そのために、理数教育の充実や国際性の育成に力を入れることはもちろんのこと、主体的に判断し、行動するために必要な問題解決力や豊かな感性、望ましい自然観や科学・技術観などを育てたいと考えています。

◎平成22年度SSH活動報告会◎

○実施要項

1 目的

SSH指定1年次の活動について報告し、活動内容等に関する指導・助言を受け、今後の研究開発活動の改善と推進に資する。

2 日時

平成23年3月16日(水) 10:00~12:00

3 会場

山口県立徳山高等学校 体育館

4 参加対象

山口県内高等学校及び周南市内小・中学校教職員、光・下松市内中学校教職員
全国SSH指定校教職員、SSH運営指導委員、県教育委員会関係者
宇部高等学校理数科第1学年生徒及び教職員
徳山高等学校普通科・理数科第1学年生徒及び教職員並びに保護者

5 日 程

10:00～10:10	開会行事
10:10～10:25	事業概要報告
10:25～11:05	生徒活動報告（口頭発表） ・3校合同理数科セミナー ・マレーシア海外研修①・②
11:15～11:45	ポスターセッション ・学校設定科目「SSH基礎」 ・マレーシア海外研修 ・島田川水質調査 ・企業連携学習
11:50～12:00	閉会行事
12:00～12:30	宇部・徳山両高等学校生徒による交流会



【開会行事】

徳山高校普通科・理数科1年生320名
宇部高校理数科1年生40名の他、SSH
運営指導委員、県内中学校・高校の先
生方及び保護者の方々など約400人が
参加しました。

理数科1年8組の生徒2人による司会で
報告会全体が進行されました。

【生徒活動報告】

- ①理数科合同セミナー
- ②マレーシア海外研修
(ロイヤルセランゴール)
- ③マレーシア海外研修
(マラ工科大学)

の活動について、3つのグループが口頭
発表による報告を行いました。

③の報告は英語で行われました。報告に
について、英語による質問がありました
が、きちんと英語で受け答えする
ことができました。



▷口頭発表は自信をもって発表していたので、聞く人も聞きやすかったと思う。

▷各自の練習は行っていたが、パワーポイントを使っての全体練習を直前にやった
ので、調整が行き届かず、少し悔やむところもあった。(生徒アンケートより)

【ポスターセッション】



燃料電池の効率についての実験



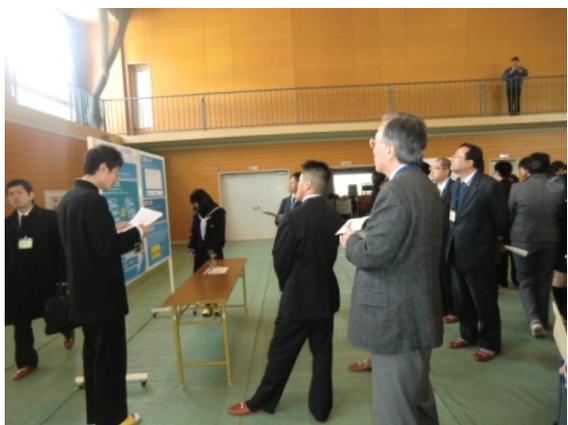
地学巡検（須佐・秋吉台）



酸化還元滴定実験



島田川水質調査



企業連携学習（協和発酵バイオ）

- ▷人に分かりやすく伝えることは難しいと思った。原稿どおりに読むのではなく、相手の反応を見ながら伝えることが大切なんだと思った。
- ▷外部の人から質問されたときは、冷や冷やした。自分の知識を総動員したが、説明や研究内容が少し甘かった。
- ▷人に伝えるためには、抑揚をつけたりジェスチャーを交えたり、そういうので一生懸命やる必要があると思った。
- ▷簡単なことを難しく描いているポスターがあった。分かりやすさを考えるべきだと思う。

（生徒アンケートより）

【宇部高校・徳山高校生徒交流会】



討論のテーマは「東日本大震災」



グループで話し合い

- ▷グループになって話し合うことで、多くの意見が聞けてよかった。
- ▷いろいろな意見を言い合えて楽しかった。たくさんの人と会話ができて、対人能力がupしたと思う。
- ▷何かのテーマについて話し合う点は良かったが、発表の内容は薄かったと思う。提案の理由が述べられていなかったの。
- ▷時間が短かったこともあり、あまり交流した感じを受けなかった。三校合同セミナーのように、ディベートや長縄跳びなどもっと交流したかった。
(生徒アンケートより)

◎今年度のSSH活動予定◎

企業連携学習（1年 普通科・理数科）	7月下旬
岩国・山口・徳山高校合同理数科セミナー（1年 理数科）	8月5日～7日
大学体験学習（2年 普通科・理数科）	8月
全国SSH生徒課題研究発表会（2年 代表生徒）	8月上旬
SSH全校講演会（1～3年 普通科・理数科）	9月9日
マレーシア海外研修（1年 普通科・理数科）	1月上旬
SSH課題研究発表会（2年 理数科）	2月中旬
SSH活動報告会（1年 普通科・理数科）	2月中旬

おわりに

昨年度4月から、学校独自の科目を設定して、理数科の授業を中心とする研究を行うとともに、マレーシア海外研修や企業連携学習など特色ある活動に取り組み、将来、国際社会の中で活躍できる科学・技術系人材を育成するための教育プログラムの開発を進めてきました。

指定2年目を迎えたこれから、理数科だけでなく、普通科にも活動対象を拡大し、全校で取り組むSSHとなるよう研究開発の内容を充実させていきます。